

町民のみなさんの傍聴・感想 ありがとうございました

9月議会傍聴者数

9月4日	5名
9月5日	3名
9月6日	7名
合計	15名

傍聴者の声

紙面の都合上、要旨を抜粋いたしました。(敬称略)

○ 耳に少し障害があって、質問・答弁が聴き取りにくい人もいます。議場では大きな声を上げてほしい。町政を良く説明していますが「それだけ」という感じです。町の将来展望につながるような現実性のあることを知りたいです。(湯沢)

意見書

『埼玉県立大学への医学部新設』を提出

提出者 【新自民クラブ・新政クラブ・町民クラブ・公明党・日本共産党】

埼玉県の人口10万人当たりの医師数は146人、全国最下位です(2010年12月)。しかも、埼玉県の一般病床数の人口対比は全国で最も少なく、救急体制も極めて脆弱であるため、医師の勤務環境は苛酷を極めています。

一方で、埼玉県の高齢者(65歳以上)人口は145万人と全国で5番目に高い状況に加え、高齢化のスピードが全国で最も速いことが指摘されています。今後、全国で最も高齢者の人口が増大していく埼玉県においては、現在の医師不足の状況を大幅に改善しない限り、県民の救命救急環境はさらに深刻なものになり、医師の苛酷な勤務実態はさらに悪化するばかりです。すでに、県内の基幹的な病院で小児入院医療の廃止や周産期医療の休止が続いており、医師不足の解消は緊急課題です。

卒業後地域医療に従事することを期待できる医師養成医学部が、埼玉県の国公立大学に全くない状況を打開することは非常に重要です。埼玉県立大学への医学部の設置は多くの関係者、県民の願いです。住民の命と健康を守る立場に立ち、医師不足の解消と救急体制整備を実現するため、国と県へ提出しました。

【編集後記】 広沢 文隆

橋下徹大阪市長の著書『まっとう勝負』の中に「ウソをつけない奴は政治家と弁護士にはなれないよ！ ウソつきは政治家と弁護士の始まりなのっ！」とありました。広報の編集は、ウソの上には成り立ちません。町民の利益になるよう、町政へのチェック機能を高め、問題点の論議、各議員の態度表明など臨場感をかもし出す編集努力をしています。

- 議長 渡辺 忠夫
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 広沢 文隆
- 委員 佐々木ひろ子
- 委員 山崎 善弘
- 委員 長谷川真也
- 委員 松岡 高志
- 委員 鈴木 勉